

# 社会教育実習体験記

神奈川県社会教育課程



# 実習実績

2023年度、延べ**24名**の学生たちが、  
**9都県、22の組織・施設**にて  
社会教育実習を行なってきました





# 参加の動機

私は人とコミュニケーションを取ることに苦手意識を持っており、実習を通して克服したい（I.A. 2年生）

自分の視野を広げたい、全く知らない地域に飛び込んでみたいという気持ちがあったから（Y.Y. 2年生）

将来、公務員になりたいという希望があったから（T.Y. 3年生）



# 實習先



行政機關  
(10名)

国立青少年教育振興機構  
(5名)

社会教育関係機関  
(9名)



## 人と人との繋がり

社会教育での共通点は「人と人が繋がる」という点にある。だからこそ、それらの役目を果たす社会教育主事は、**人と人のネットワークを大切にしていかなければならないのだ**と感じた (T.Y. 3年生)

## 非日常体験

今回の実習を通して、**普段とは違う環境に身を置くことの面白さ**を知った。家庭でも学校でもない、普段とは全く異なる特別な環境で実習を行うことができた貴重な機会だった (A.R. 2年生)

# 行政機関

## 実習を通じた学び

社会教育実習を通して、私は大学を卒業した後の社会教育課程での**学びが活かされる場面の広さ**を実感した。そして、その中でも特に、**繋がりを創出すること**における強みを感じた (Y.H. 2年生)

## 楽しむことが大事

「仕事半分、楽しさ半分」を教えられた。ボランティアとして大切なことは、運営の仕事をしつつ、イベントにも積極的に参加するということだと私は捉えた。豊科公民館の社会教育指導員の方も仰っていたことだが、**楽しみがないとボランティアは続かない** (I.K. 4年生)

## 社会教育の意義

野外活動の面で学校教育よりも自由に思い切り活動して遊ぶ、そしてその中で楽しいこと危ないことを知る、学んでいくことができるのが社会教育の場の存在意義なのではないかと感じた (M.M. 3年生)

## 成長できる場

普段家でゲームをして遊んでいる子どもたちが自然や初めての活動に好奇心や興味を持って生き生きした表情を見せてくれた。お互いに工夫しながら活動していく中で、子どもたちとともに大人も成長できる場であった (Y.M. 2年生)

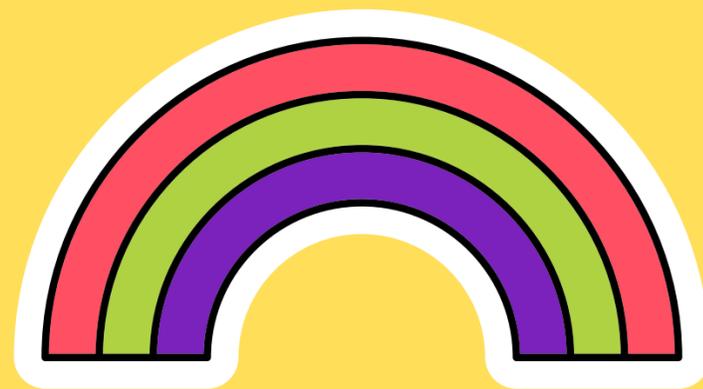
## 今後に必要な力

実習先で学んだ、周りの人に積極的にコミュニケーションをとろうとする姿勢や、状況を見て瞬時に物事を判断する力は、今後、社会に出ても必要となる力であると考え (I.K. 2年生)

## 新たな自分の発見

所長だけでなく、この場所で活動するボランティア、職員の方々、ここを訪れる利用客は心が豊かな人が多い。豊かな心を持つ人と関わることで、これまでの大学生活では分からない「新たな自分」を見つけることができるのではないだろうか (I.Y. 2年生)

# 国立青少年 教育振興機構



## 人生を考える契機

乳児から高齢者の方まで幅広い世代と交流したことで、人の「人生」について考える契機となった。また、様々な人と対話することで違った考え方や価値観に気づけた。地域づくりには、数多くの人々が携わって成り立っていることを実感した (U.S. 2年生)

## 関わる人の笑顔

常に意識していたことは「関わる人をどれだけ笑顔にさせられるか」ということ。どんな行動をとる際も、事業に関わっている方の顔を浮かべていた。社会教育とは、関わる人全員をいかに笑顔にさせることが出来るかを考えることだと思う (I.C. 2年生)

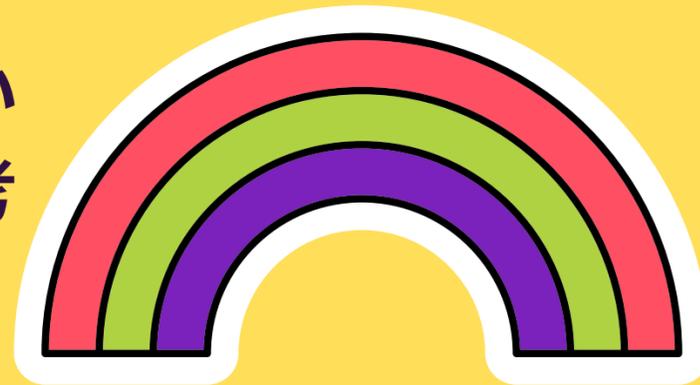
## やってみる達成感

音のイメージをあまり怖いと言わないようなところで、「怖い」と言っている子がいた。子どもならではの感性かもしれないし、言葉による表現が、統一されていないとも言える。色々な感覚を表現、共有できることが面白い (N.M. 4年生)

## 後輩に向けて

スタッフの方々がとても親切な方で、社会教育実習の学びだけでなく、将来どのような仕事をする上で大切なことも学ばせて頂いた。失敗しても周りのスタッフや子どもたちが助けてくれるような温かな雰囲気のある場所なので、是非参加してほしい (I.A. 2年生)

# 社会教育 関係機関



**THANK YOU**

